

県南地域のパイオニア



ビジネスチャンス拡大を目指し、入居した起業家たち

「一丁起業の梁(りょう)山泊

「SOHOつちうら」の起業家たち

中心市街地の空き店舗
対策と併せ、IT(情報
技術)を活用した起業家
の育成を図ろうと、昨年
三月、土浦市川口一丁目
のショッピングモール・
モール505一階にオー
プンした「SOHOつち
うら」。三十代から四十

代の起業家たちが入居
拡大を目指している。
し、ビジネスチャンスの
SOHOつちうらは、

百十一平方メートルのスペース
に市が、高速通信が可能
行う。

市民に情報提供する情報
コーナーを設けた。
入居期間は二年間で、
入居費用は月額二万円。
運営は土浦商工会議所が
行う。

関係が広がり、これから
が楽しみ。経済情勢が厳
しいので、経理などのコ
ンピューター管理は有効
な方法として認知が広が
っている」と話す。

ら中国への投資が主だっ
たが、人脈を生かし中国
から日本への投資を開拓
したい」という。
「オリコン」は官公庁
や自治体のシステム構
築、運用支援などを目指
す。折田藤男さん(四七)は
二月をめどに五人前後の
スタッフを雇い、事務所
を開設する予定だ。

ビジネスチャンスを拡大

な光ファイバーケーブル
などを備えた一区画六平
方メートルの入居用施設六区画
と、入居者が交流や商談
するサポートスペース、

総務・経理といった事
務処理やビジネス研修、
パソコンスクールなどを
運営する「総務部」の井
坂圭一さん(四九)は「交友

グルメやイベント情報
などを発信する土浦総合
案内サイト「つちうらネ
ットプレス」の高橋仁美
さん(四七)は私立高教諭か
ら転身。昨年九月から中
国茶や茶器のネット販売
も始めた。二月末にはモ
ール505内に中国茶の
喫茶店を開店予定。茶器
も販売するほか、土日に
は演奏会や四柱推命占い
などを行い、「ここにし
かない店を目指す」。

「三協インターナシヨ
ナル」は中国を対象にし
たビジネスコンサルタン
トと中国語会話教室の運
営などが主な業務。筑波
大大学院の留学生だった
荆華さん(三九)は入居後、
牛久市のリフォーム会社
に中国の繊維強化プラス
チック製造会社を紹介し
た。「これまでは日本か
り組んでいる。

土浦市川口一丁目のモール505内の「SOHOつちうら」。もともとは空き店舗だった



ITと環境をテーマと
する「電脳郷」の河合通
之さん(四七)は「とにかく
全力で駆け抜けるだけ」
と話す。スタッフ十四人
を抱え、携帯電話から自
宅に据え付けた防犯カメ
ラの映像を確認できるホ
ームセキュリティ機能
を開発する一方、竹炭を
活用した工業技術にも取
り組んでいる。

「交友関係が広がり、これからが楽しみ」「ここにしかない店を目指す」「とにかく全力で駆け抜けるだけ」